

# 令和5年度 浜田市立第一中学校 学校経営方針

川田 英樹

【学校教育目標】  
自ら考え、判断・決定し、自ら行動する生徒の育成

【校訓：質実剛健】

【めざす学校像】  
明るくさわやかに、生徒・職員・保護者・地域の人々が響き合える学校

【めざす生徒像】  
○夢をもち、何事にも果敢にチャレンジする生徒  
○自己調整力を高め、よりよく生きようと試行錯誤する生徒  
○他者を大切にし、協働して高め合おうとする生徒

【めざす職員像】  
○「人を人として大切に思う心」をもち、人権感覚を身につけた職員  
○「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」のある授業をめざし、学び続ける教師  
○和を大切にし、組織人として協働する職員

## 学校経営の基本方針

人権・同和教育の理念をすべての教育活動の基底に据え、生徒同士の好ましい人間関係や生徒と職員との信頼関係を確立していく。学校が、生徒一人一人の居場所、安心して自分の力が発揮できる場所、「愛（誇り）と夢と喜び」があふれる場所となるように、家庭・地域と連携してつくっていく。

○**凡事徹底の風土をつくる**  
教育に特效薬はない。あいさつや整理整頓など当たり前のことが当たり前にできるように地道な取組を大切にする。生徒に言う前に職員が率先垂範していく。

○**教育は一瞬にして永遠**  
職員の言動は、生徒にとって一生の財産になることも、逆に心に傷をつけることもある。言動の重みをしっかり自覚し、与えられた一瞬一瞬に全力を傾けていく。

## 指導の重点

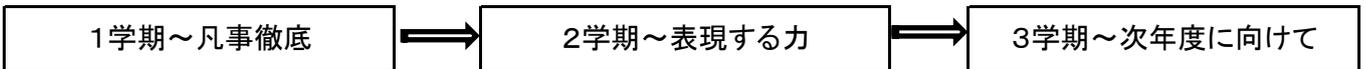
**1 「人を人として大切に思う心」の育成**  
○しっかりと話を聞く姿勢を身につけ、自他を尊重する心を育てます。  
○道徳教育の一層の充実を図り、「考え、議論する道徳」を通し、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。

**2 「わかる」授業づくり**  
○「見通し」と「振り返り」を大切にし、一人一人が問いを持てる授業づくりに努めます。  
○家庭学習につながる授業づくりを進め、家庭学習の習慣を育てます。

**3 「生徒の心に火をともし」教育の推進**  
○一人一人に出番や役割がある活動を増やし、自己効力感を育む指導に努めます。  
○リアルな体験や本物に接する機会を設定し、チャレンジを応援する指導に努めます。

**4 「地域と共にあゆむ」学校づくり**  
○まちづくりセンターと連携して地域で活躍する場をつくり、地域に貢献しようとする態度を育てます。  
○学校だよりやホームページ等での情報発信を通して、保護者や地域に学校の取組や生徒の頑張りを伝えます。

## 年間の流れ～自己有用感を高めることを基本に～



読書活動(読書時間:1週間で最低2時間) →

家庭学習(平日最低家庭学習時間:1年～80分、2年～90分、3年～100分) →

- ・出会い、仲間づくり
- ・学級集団づくり
- ・学習規律の確立

- ・体育祭、合唱コンクールで団結
- ・ふるさと学習、修学旅行、職場体験
- ・学び合い～自分の考えを表現する

- ・感謝の気持ちをもって行動
- ・43年目の校舎を磨く
- ・発展、探究学習にチャレンジ